

## 平成26年度第3回島根県公共事業再評価委員会質疑応答

件名	平成26年度 第3回島根県公共事業再評価委員会								
日時	平成26年8月18日(月) 11:00~16:25								
場所	抽出地区(益田市、浜田市)								
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●委員 安部康二、岡清二、 来海公子、木村和夫、宗村広昭、高田龍一、藤山晶子、藤原眞砂、三輪淳子(敬称略)</li> <li>●県 土木部 技術管理課長、河川課主幹、港湾空港課GL、森林整備課GL、砂防課主任、益田県土整備事務所土木工務部長、浜田港湾振興センター課長、浜田県土整備事務所農林工務部長、浜田河川総合開発事務所課長 他</li> </ul>								
議事	<p>抽出箇所の現地調査</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">1 地すべり対策事業</td> <td>中遠田</td> </tr> <tr> <td>2 海岸侵食対策事業</td> <td>三隅港湊浦地区</td> </tr> <tr> <td>3 県営林道開設事業</td> <td>足尾線</td> </tr> <tr> <td>4 河川総合開発事業</td> <td>浜田川</td> </tr> </table>	1 地すべり対策事業	中遠田	2 海岸侵食対策事業	三隅港湊浦地区	3 県営林道開設事業	足尾線	4 河川総合開発事業	浜田川
1 地すべり対策事業	中遠田								
2 海岸侵食対策事業	三隅港湊浦地区								
3 県営林道開設事業	足尾線								
4 河川総合開発事業	浜田川								

### 質疑応答

#### ◆地すべり対策事業 中遠田

(委員) 効果の確認の仕方はどうにするのか。

(県) 雨量を観測し、対策前からの地下水位の変動で確認する。その他にひび割れなどの地形変化でも確認する。

(委員) ブロックの優先度はどのようにして判断しているか。

(県) 動きの状況を見て判断している。

(委員) 今年度の予算は満額ついているか。

(県) 交付金事業で進めており、県の中で予算配分して事業を進めている。計画通りの予算で事業を進めている。

(委員) 県下の地すべり指定状況はどうか。

(県) 危険箇所275に対して128箇所を指定している。この数字は土木の数であり、主に家を守る対策の事業である。なお、土木以外に森林、農村を守る地すべりがあるが、その数はこの数字には含まれない。

(委員) 井戸の中の水位が高い。排水はどこに流すのか。

(県) 遠田川に流している。H=3.5m と浅い井戸で、濁っている所以水位が高く感じられる。

(委員) 子供がフェンス内に入ったりする心配はないか。

(県) フェンスの出入り口は施錠して入れないようにしている。毎年定期点検を行い、蓋やフェンスが老朽化すれば修繕している。

#### ◆海岸侵食対策事業 三隅港湊浦地区

(委員) 侵食のメカニズムで侵食部と堆積部の現れ方はどのようなか。

(県) これまでの研究より、一般的に、青の矢印が強い波の方向から 20° までが堆積部、40~50° が侵食部とされている。

(県) 突堤を追加実施し、東から西への砂の動きを止めることで流れが止まりよどんで砂がたまると考えている。それでも侵食が進むようであれば新たに計画を考えていかなければならない。

(委員) 現在、突堤があるのに侵食されているのか。

(県) 突堤の長さが短かったためと思われる。

(委員) 多岐などでは離岸堤がつくられている。潜堤より離岸堤の方が効果があるのか。

(県) 機能としては同じ。潜堤は離岸堤と比べると比較的新しい工法。効果の発現は離岸堤が早い。

(委員) もとは砂浜、砂が無くなり、護岸が壊されるので養浜することだが、何年で回復する見込みなのか。

(県) シミュレーションは完成後 10 年あるいは 20 年で実施しているが、単年で突堤が出来るわけでは無くシミュレーションと同じように変化することはないと思う。突堤を施工中から徐々に時間をかけて効果は出てくることとなる。

(委員) 上流にダムができたり、コンクリート護岸で川を固めているので、砂が流れ出なくなったのが原因の一つではないか。

(県) 川から砂の供給が少なくなったことは確かである。そのためにも、これ以上砂浜が侵食されないようにしたい。

(委員) 潜堤の部分は水深 50 cm とのことだが、漁業関係者の理解は得られているか。

(県) 地元へは説明している。今まで問題があったとは聞いていない。

## ◆県営林道開設事業 足尾線

(委員) 標高はどのくらいか？

(県) 800m程度

(委員) 生活道としても使われているのか？

(県) 一部区間で集落間の連絡道として利用されている

(委員) 開通したら活用は？

(県) 森林整備を主目的とした林道であり、この道路を骨格として作業道等の整備も進めていく

(委員) どこかの林道で「観光目的にも活用しては？」意見もあったが？

(県) 当該地では施設もなく、観光目的としてはあまり考えてはいない。ただ、見晴らしもよく、秋の紅葉時期にはいいところです。

また、近年の大雨で近隣の県道へ土砂が流出したことあり、地元からは、災害時の迂回路として期待されている。

(委員) ヒノキをマツ林へ植栽していたが、なにか意図があるのか？

(県) 複層林形成を目指している。マツを伐採する頃にヒノキが生長し、循環するよう複層林形成を目指している。

また、ヒノキは多少陰になっても成長するため、下層木に適している。

(委員) 積雪の時期は？

(県) 12月半ばから3月までの3ヶ月程度。

(委員) 林道管理は、どこが行っているのか？

(県) 浜田市に引き渡し済み。沿線の草刈りは市が行っている。

(委員) 法尻の木材は、間伐材パネル？

(県) 視距確保と防草対策として施工しており、開設後の維持費削減効果も持っている。

(委員) いままでの再評価の説明は工事コスト削減の話が主だったが、今回は効果の部分を強調されているが？

(県) 幅員の見直し、現地発生材のチップ吹き付けなどのコスト削減は実施している。足尾線では、区域内で利用可能な森林資源が多く、伐って、使ってといった効果の面について説明をさせて頂いた。

(委員) 市が関与しているか？

(県) 利用区域内に市行造林もあり、市が主導する森林整備も含まれている。連携して事業を進めている。

(委員) この林道は宣伝・PRをしているか？

(県) 現在、工事中であることから、具体的なPRはしていないが、全線開通後はPRをしてきたいと考えている

(委員) 利用区域内森林の所有形態を知りたい。

(県) 国有林はないが、民有林については後日事務局を通じて回答する。

(委員) 以前に聞いたことがあるが林道の整備計画は？

(県) 県の林内路網方針のことだと思うが、10年後に14.6m/haの路網密度を目指している。

(委員) また、詳しく教えてほしい。

(県) 後日、事務局を通じて回答する。

#### ◆河川総合開発事業 浜田川

(委員) ゲートは、撤去するのか。

(県) ゲートはすべて撤去します。越流部の洪水吐は幅を広げます。流水は、ダムから自然に流れる状態になります。2つのダムで、洪水を調節することになります。

(委員) 進捗率は。

(県) 浜田ダム再開発工事は、3月に契約し6月に着工したばかりで、現在は仮設備の構台を設置する作業を行っています。上流側の構台は、貯水池内の土砂を除去するための作業の構台です。これ以外に、再開発工事でダムの天端道路を通行止めにはできないため、下流側に道路用の構台を設置する作業を行っています。

(委員) ここ(浜田ダムの天端)は、県道になるのか

(県) 県道となります。

(委員) 洪水調節は400tか？

(県) 浜田大橋基準点において、1060m<sup>3</sup>/sの洪水(基本高水流量)を2ダムで洪水調節を行うことにより浜田大橋基準点の流量を400m<sup>3</sup>/s(計画高水流量)にする計画です。

(委員) 浜田ダムの管理形態はどのようになるのか

(県) 現在の浜田ダムは、職員が常駐していますが、浜田ダム再開発によりゲートを撤去します。浜田ダムは、自然調節になり、ゲート操作もなくなるので、操作が不要となります。このため第二浜田ダムで統合管理します。管理所は、第二浜田ダムにできます。浜田ダムには監視所ができ、浜田ダムのデータを取集し、第二浜田ダムに送って管理するようになります。

(委員) 第二浜田ダムの天端は、県道になるのか

(県) 県道となります。

(委員) エレベーターは何のためについているか。

(県) ダム堤体内にある監査廊へ行くための管理用の昇降設備で、ダム高が高いため、設置しています。

(委員) 林道をつくる理由は。その規格は十分すぎるものでないか。

(県) 第二浜田ダムにより既設道路が貯水池内に水没します。既設道路の県道は、林道も兼用しており、貯水池内に水没することから林道の付替えを行っています。道路の幅は3.6m程度です。

(委員) ダムが満水となった時の安全率は。

(県) 基準により設計しています。滑動に対する安全率は4以上です。

(委員) ダム湖はできるか。

(県) 第二浜田ダムにはダム湖ができます。平常時のダム湖の水面は、ダム天端より低い位置で、天端より約50m下になります。浜田ダムは、河床と同じ高さに放流口があり、平常時はダム湖となるような水面はできない状況となります。

(委員) ダム見学など、一般の人のための施設（展望台など）を考えているか。御部ダムのような、公園整備をするのか

(県) 工事で使用した仮設備のヤード等を利用して一般駐車場を整備する予定ですが、展望台や公園整備などは考えていません。